

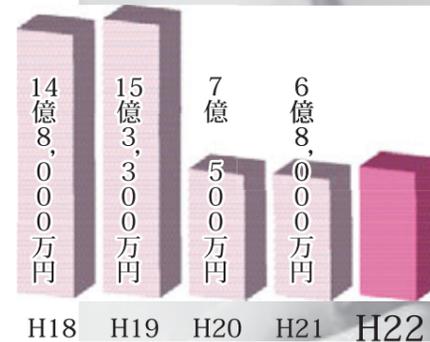
佐呂間町の 国保医療費は？

平成22年度 佐呂間町国民健康保険医療費

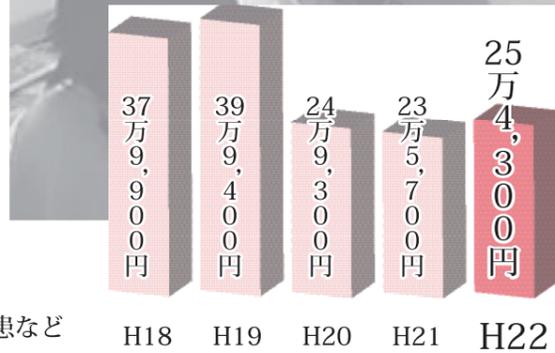
7億1,643万円

平成21年度比較 /
3,619万円増 (+5.319%)

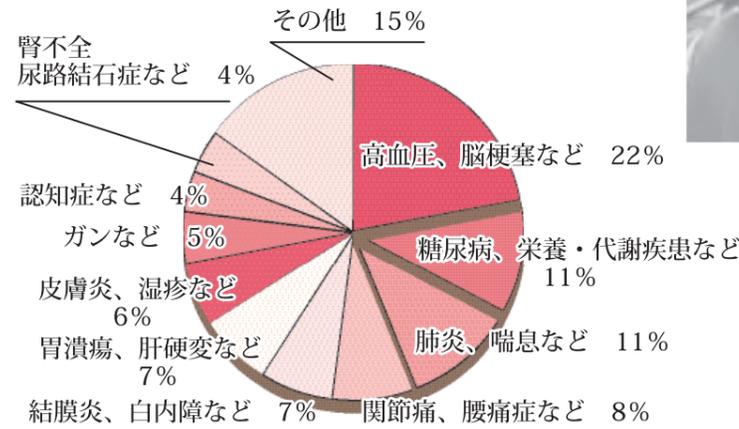
総医療費の推移



1人平均診療費の推移



疾病分類別件数の占める割合



平成22年度国保加入者（年間平均2,379人）の総医療費は7億1,643万円で平成21年度と比較して、3,619万円、率にして5.319%増となりました。国保加入者一人平均の診療費（入院・入院外・歯科）は25万4,311円で、平成21年度から1万8,634円増加しています。

平成22年度の延べ入院件数は、625件（前年度比8件減）で、一ヶ月平均の件数は52件、入院日数は9,225日（前年度比453日減）で、一件平均の日数は15日となり、毎月52人が15日間入院したことになります。

また、外来の延べ件数は15,169件（前年度比1,132件減）で、一ヶ月平均の件数は1,264件、外来日数は22,941日（前年度比2,054日減）で、一件平均の日数は2日となり、毎月1,264人が2日間通院したことになります。

一人当たり受診件数を年齢階層別に見ると、70歳から74

歳加入者の受診件数は11・9件、0歳から4歳が9・8件、65歳から69歳が9・6件、60歳から64歳が6・9件となっており、乳幼児の方と年を重ねるごとに受診件数が伸びる傾向にあります。

疾病分類別の受診件数をみると、1位が循環器系疾患で全体の受診件数の22%を占めており、次いで内分泌・栄養及び代謝疾患（11%）、呼吸器系の疾患（11%）となっています。

疾病分類別の受診件数をさらに詳しくみると、全体では1位が高血圧性疾患、2位が糖尿病、3位がその他の内分泌、栄養及び代謝疾患（高脂血症が多い）となっています。年別で見ても、同様の傾向がみられ、この3つの疾患は特に50歳代以降から70歳代前半にかけて年代が高くなる毎に受診件数が増えています。また40歳から64歳の働き盛り世代の循環器疾患の内訳を見ると、高血圧性疾患に続き、心筋梗塞を含む虚血性心疾患の件数が多くなっています。

高血圧性疾患、糖尿病、高脂血症などの多くは長年の生活習慣により引き起こされ、生活習慣病と呼ばれます。初期の段階ではほとんど自覚症状はありませんが、血液中の糖（血糖）や脂質（中性脂肪やコレステロール）が多い状態が続いたり、血圧が上がって血管に負荷がかかると血管の壁が傷つきやすくなり、血管の内側にこぶ状のものができ血管の通り道が狭くなる、血管が硬くなるなどの動脈硬化を進めてしまいます。この動脈硬化が進むと脳、心臓といった大切な臓器への血流が滞り、脳梗塞や心筋梗塞といった病気の発症につながり、中には後遺症が残り日常生活に支障が出る場合もあります。そこで、自身の体に生活習慣病につながるようなリスクが無いかどうかをチェックするために、「特定健診」（以下健診）などを受診することが有効です。（※年齢や加入している医療保険によって、健診を受けられる機関や検査項目に違いがありますので、ご確認の上受診ください。）

健診を定期的に受けることにより、血液検査、尿検査、心電図検査、眼底検査、腹囲などの検査データから、動脈硬化につながるリスクが高まっているか、また生活習慣の改善につながったかどうか、変化を確認することができます。

佐呂間町の健診では、若い30歳～40歳代でも、糖尿病予備軍の方が見られており、生活習慣病の発症予防のためには、若いうちから健診で体の状態をチェックし、生活習慣を見直すことが大切になります。また、すでに治療を開始されている方についても健診結果を主治医に見てもらい生活上の注意を確認することで、生活習慣病の進行を遅らせるなど、日頃の治療に役立てることができそうです。

今回、国保の受診件数の状況から生活習慣病予防の傾向についてお伝えしましたが、ぜひ多くの方に健診を受診していただき、生活習慣病の予防や健康づくりに役立てていただきたいと思います。

今回、国保の受診件数の状況から生活習慣病予防の傾向についてお伝えしましたが、ぜひ多くの方に健診を受診していただき、生活習慣病の予防や健康づくりに役立てていただきたいと思います。

順位	全 体	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳
1	高血圧性疾患	皮膚炎及び湿疹	その他の妊娠、分娩及び産じょく	皮膚炎及び湿疹	精神分裂病型障害及び妄想性障害	高血圧性疾患	高血圧性疾患	高血圧性疾患
2	糖尿病	その他の急性上気道感染症	屈折及び調節の障害	精神分列病型障害及び妄想性障害	屈折及び調節の障害	糖尿病	糖尿病	糖尿病
3	その他の内分泌・栄養及び代謝疾患	アレルギー性鼻炎	皮膚炎及び湿疹	屈折及び調節の障害	良性新生物及びその他の新生物	その他の内分泌・栄養及び代謝疾患	その他の内分泌・栄養及び代謝疾患	その他の内分泌・栄養及び代謝疾患
4	皮膚炎及び湿疹	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎及び急性細気管支炎	その他の妊娠、分娩及び産じょく	神経性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	精神分裂病型障害及び妄想性障害	症状、徴候及び異常臨床所見・検査所見で分類なし	虚血性疾患
5	屈折及び調節の障害	腸管感染症	乳房及びその他の女性性器の疾患	乳房及びその他の女性性器疾患	その他の内分泌・栄養及び代謝疾患	症状、徴候及び異常臨床所見・検査所見で分類なし	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	関節症

疾病分類別順位（年代別）